

# 楠葉西中学校 1年生 本日の予定

『めあて』を達成できるように意識しながら、毎日課題に取り組みましょう。

時間\曜日		5/22 (金)	
1 限目	教科/ めあて	社会	一年中暑い地域の様子について理解する。
	内容	副読本「白地図読み取りワーク」のP4に取り組む。 (回収は学校再開日)	
	注意事項	答え合わせもしておく。 教科書のP26~27も参考にして、 日本との違いを理解しておこう。	
2 限目	教科/ めあて	数学	正負の数の加法 (交換・結合法則)
	内容	タブレットドリル 2. 加法、減法、加法と減法の混じった計算⇒ドリル⇒加法(1)~(3)をやる。	
	注意事項	全問正解できるまでやること。	
3 限目	教科/ めあて	美術	素描表現
	内容	自分で用紙を準備し、用紙の一番上に組番氏名を書き、身の回りの物(筆記具や日用品)を写実的にかつ立体的に描く。※明暗・グラデーションをしっかりとつけること。※影も表現すること。※5/23(土)提出	
	注意事項		
4 限目	教科/ めあて	(この領域は斜線表示されています)	
	内容		
	注意事項		

<b>3</b>	正負の数：加法と減法	年 組 番	/ 16問
	<b>加法(1)</b>	名前	

図 1 次の計算をなさい。

①  $(+5) + (+5)$

( )

②  $(+3) + (+8)$

( )

③  $(+2) + (+10)$

( )

④  $(+4) + (+1)$

( )

⑤  $(+0.6) + (+1.3)$

( )

⑥  $(+\frac{1}{2}) + (+\frac{1}{2})$

( )

⑦  $(+2.4) + (+1.5)$

( )

⑧  $(+\frac{1}{4}) + (+\frac{1}{8})$

( )

図 2 次の計算をなさい。

①  $(-3)+(-5)$

( )

②  $(-6)+(-10)$

( )

③  $(-2)+(-7)$

( )

④  $(-1)+(-9)$

( )

⑤  $(-1.2)+(-2.2)$

( )

⑥  $(-\frac{1}{2})+(-\frac{1}{4})$

( )

⑦  $(-0.3)+(-1.6)$

( )

⑧  $(-\frac{2}{5})+(-\frac{3}{10})$

( )

<b>4</b>	正負の数：加法と減法	年 組 番	
	<b>加法(2)</b>	名前	/ 16問

図 1 次の計算をなさい。

①  $(+4)+(-4)$

( )

②  $(-7)+(+7)$

( )

③  $(+10)+(-6)$

( )

④  $(+8)+(-1)$

( )

⑤  $(+6)+(-14)$

( )

⑥  $(+11)+(-19)$

( )

⑦  $(+6)+0$

( )

⑧  $0+(-3)$

( )

図 2 次の計算をなさい。

①  $(+2.5)+(-5)$

( )

②  $(-0.2)+(+1.5)$

( )

③  $(+0.5)+(-6.5)$

( )

④  $(-1)+(+0.9)$

( )

⑤  $(+\frac{1}{6})+(-\frac{5}{6})$

( )

⑥  $(-\frac{2}{5})+(+\frac{1}{3})$

( )

⑦  $(+\frac{3}{4})+(-\frac{5}{8})$

( )

⑧  $(-\frac{2}{3})+(+\frac{1}{2})$

( )





<b>3</b>	正負の数：加法と減法	年 組 番	/ 16問
	<b>加法(1)</b>	名前	

図 1 次の計算をしなさい。 **ポイント** 同符号の2つの数の和は、絶対値の和に共通の符号をつける。

①  $(+5) + (+5)$

●  $(+5) + (+5)$

$= +(5 + 5)$

$= +10$

(  $+10$  )

②  $(+3) + (+8)$

●  $(+3) + (+8)$

$= +(3 + 8)$

$= +11$

(  $+11$  )

③  $(+2) + (+10)$

(  $+12$  )

④  $(+4) + (+1)$

(  $+5$  )

⑤  $(+0.6) + (+1.3)$

(  $+1.9$  )

⑥  $(+\frac{1}{2}) + (+\frac{1}{2})$

(  $+1$  )

⑦  $(+2.4) + (+1.5)$

(  $+3.9$  )

⑧  $(+\frac{1}{4}) + (+\frac{1}{8})$

(  $+\frac{3}{8}$  )

図 2 次の計算をなさい。

①  $(-3)+(-5)$

●  $(-3)+(-5)$

$=-(3+5)$

$=-8$

(  $-8$  )

②  $(-6)+(-10)$

●  $(-6)+(-10)$

$=-(6+10)$

$=-16$

(  $-16$  )

③  $(-2)+(-7)$

(  $-9$  )

④  $(-1)+(-9)$

(  $-10$  )

⑤  $(-1.2)+(-2.2)$

(  $-3.4$  )

⑥  $(-\frac{1}{2})+(-\frac{1}{4})$

(  $-\frac{3}{4}$  )

⑦  $(-0.3)+(-1.6)$

(  $-1.9$  )

⑧  $(-\frac{2}{5})+(-\frac{3}{10})$

(  $-\frac{7}{10}$  )

<b>4</b>	正負の数：加法と減法 <b>加法(2)</b>	年 組 番 名前	/ 16問
----------	----------------------------	-------------	-------

図 1 次の計算をなさい。

①  $(+4) + (-4)$

②  $(-7) + (+7)$

●  $(+4) + (-4)$

$= 0$

( 0 )

( 0 )

**ポイント** 絶対値の等しい異符号の2数の和は、0。

③  $(+10) + (-6)$

④  $(+8) + (-1)$

●  $(+10) + (-6)$

$= +(10 - 6)$

$= +4$

( +4 )

( +7 )

**ポイント** 異符号の2つの数の和は、絶対値の大きいほうから小さいほうをひき、絶対値の大きいほうの符号をつける。

⑤  $(+6) + (-14)$

⑥  $(+11) + (-19)$

●  $(+6) + (-14)$

$= -(14 - 6)$

$= -8$

( -8 )

( -8 )

⑦  $(+6) + 0$

⑧  $0 + (-3)$

( +6 )

( -3 )

**注意!** ある数に0を加えても、和はもとの数のままである。

図 2 次の計算をなさい。

①  $(+2.5) + (-5)$

②  $(-0.2) + (+1.5)$

●  $(+2.5) + (-5)$

$= -(5 - 2.5)$

$= -2.5$

( -2.5 )

( +1.3 )

③  $(+0.5) + (-6.5)$

④  $(-1) + (+0.9)$

( -6 )

( -0.1 )

⑤  $(+\frac{1}{6}) + (-\frac{5}{6})$

⑥  $(-\frac{2}{5}) + (+\frac{1}{3})$

(  $-\frac{2}{3}$  )

(  $-\frac{1}{15}$  )

⑦  $(+\frac{3}{4}) + (-\frac{5}{8})$

⑧  $(-\frac{2}{3}) + (+\frac{1}{2})$

(  $+\frac{1}{8}$  )

(  $-\frac{1}{6}$  )



5	正負の数：加法と減法 <b>加法(3)</b>	年 組 番	名前
			/ 12問

図 1 次の計算をしなさい。

①  $(+3) + (-7) + (+2)$

②  $(-4) + (+2) + (-4)$

●  $(+3) + (-7) + (+2)$  解法テク 同じ符号を  
まとめてから計算する。  
 $= (+3) + (+2) + (-7)$   
 $= \{(+3) + (+2)\} + (-7)$  (      -2      )  
 $= (+5) + (-7) = -2$

(      -6      )

③  $(+6) + (-8) + (-12) + (+3)$

④  $(-5) + (-5) + (+3) + (-7)$

(      -11      )

(      -14      )

⑤  $(-2) + (+9) + (+2) + (-9)$

⑥  $(+14) + (-6) + (-4) + (+6)$  解法テク  
このように、0に  
なる組み合わせを  
見つけるとよい。  
 ●  $(+14) + (-6) + (-4) + (+6)$   
 $= (+14) + (-4) + (-6) + (+6)$   
 (      0      ) (      +10      )

⑦  $(+0.8) + (+1.2) + (-0.4) + (-0.4)$

⑧  $(-3) + (-3) + (-3) + (+5) + (+9)$

(      +1.2      )

(      +5      )

⑨  $(-1.7) + (+0.3) + (-0.6) + (+1.8)$

⑩  $(-37) + (+23) + (-15) + (+41)$

(      -0.2      )

(      +12      )

**ポイント** ■ + ● = ● + ■ (加法の交換法則) や, (■ + ●) + ▲ = ■ + (● + ▲) (加法の結合法則) を利用する。

図 2 AさんとBさんが交互に同じ回数だけさいころを投げ、Aさんが出した数を正の数、Bさんが出した数を負の数として、ふたりの数の合計が0より大きければAさんの勝ち、0より小さければBさんの勝ち、0の場合は引き分けと決めました。さいころを6回ずつ投げた結果は、次の表のようになりました。

	1回目		2回目		3回目		4回目		5回目		6回目	
Aさん		-		-		-		-		-		-
Bさん	-		-		-		-		-		-	

(1) それぞれが3回ずつ投げたときのふたりの数の合計を求めなさい。

●  $(+6) + (-4) + (+3) + (-5) + (+1) + (-4)$   
 $= (+6) + (+3) + (+1) + (-4) + (-5) + (-4)$  (      -3      )  
 $= (+10) + (-13) = -3$

(2) 6回ずつ投げた結果、勝ったのはAさん、Bさんのどちらですか。

● Aさん...+24, Bさん...-23で、ふたりの合計は  
 $(+24) + (-23) = +(24-23) = +1$  (      Aさん      )  
 となり、0より大きい。

1年 美術 5/19 (火) 5/22 (金) 5/23 (土) 提出

自分で用紙を準備し、用紙の一番上に組番氏名を書き、身の回りの物（筆記具や日用品）を写実的にかつ立体的に描く。※1 用紙はノートを1枚ちぎるなどでもよい。※2 色鉛筆等で色を塗っても、鉛筆・シャーペンで白黒で表現してもよいが明暗・グラデーションをしっかりとつけること。※3 影も表現すること。※4 複数、描いてもよい。※4 しっかり時間をかけて丁寧に取り組むこと。5/23 (土) 提出